

で、しごく妥当な判断が行われている。

特に問題なのは、この七三校に対して四億円。兵庫県は、七校に対して一億二、〇〇〇万円以上を支出しているという事実である。なぜ、学校数が一割未満なのに、金額では三分の一いくのか、これほど厚遇する必要があるのかどうか、はなはだ疑問に感じている。

補助金の交付要綱は、専任教師人件費、教育研究や管理についての消耗品、光熱費・修繕費などの経費、教育研究用の機器や図書購入費といったものが対象となっており、補助率はそれらの支出の何%という定率ではなく、定額となっている。つまり、学校法人の支出額に関係なく県側で払う金額を決めて支給している。

ちなみに、過去一〇年間の振興費補助は、平成十五年度から二〇年度が、ほぼ一億四、〇〇〇万円、二二年度から一億三、〇〇〇万円台となっているが、この後、行革プラン等もあるにもかかわらず、つねに同じぐらいのペースでそのまま出されている。

●委員長（黒川治）

大谷委員に申し上げます。

申し合わせによる時間が経過しておりますので、発言は簡潔に願います。

●（大谷 勸介委員）

この補助金交付に当たって、どのような審査がなされて

いるのか、簡潔にご答弁をお願いします。

●教育課長（清澤 貞二）

外国人学校振興費補助については、外国人児童生徒等の教育の機会の確保や保護者の経済的負担の軽減などを目的としていることから、その目的に応じて補助金が適切に行われているかどうかを確認しているところである。

具体的には、補助金交付要綱にもとづき、先ほどご説明いただいた専任教職員人件費等の諸経費について、学校法人から提出される補助事業の交付申請書、そして実績報告書にその支出を確認するほか、現地での帳簿書類を確認していることによつて、その対象の経費について補助金の適正執行を確認しているところである。

●（大谷 勸介委員）

まったく納得はできていないが、なぜやめられないのかという観点で、一度本当に考えていただき、また、全国的に。

●委員長（黒川治）

大谷委員に申し上げます。

時間が経過しておりますので、発言は簡潔に願います。

●（大谷 勸介委員）

国の流れも見えてきているので、ここで兵庫県としてもご一考いただければ幸いである。

…（質問終わり）…

## 井戸敏三兵庫県知事への公開質問状

（2013年4月15日提出）

### 井戸敏三兵庫県知事への公開質問状

— 朝鮮学校に補助金を出し続ける理由は何ですか —

兵庫県民のために日夜ご尽力くださっていることに敬意を表します。

本日、公開質問状を提出しますのは、兵庫県民のために反する施策がとられているからです。それは朝鮮学校にたいして県が毎年一億数千万円の補助金を与え続けていることです。朝鮮学校への補助金について、これまで二十年三十年と支給を続けてきた府県が相次ぎ打ち切っています。すでに東京、大阪、神奈川県、埼玉、千葉、宮城、広島、山口、新潟の九県にのぼっています。北朝鮮が二月十一日に三回目の核実験を強行したり、ミサイル発射の構えを見せていることなどへの当然の怒りからです。

三月八日には国連安保理事会が北朝鮮への制裁決議を全会一致で可決しました。しかるに北朝鮮は反省の色なく東京、大阪、名古屋、横浜、京都の五都市を名指しして日本に対してもミサイル攻撃の脅しをかけています。

こうした状況の下で朝鮮学校への補助金をこれまでど

おり支給し続けてよいのかの聲が高まっています。拉致した日本人は返さず、核廃絶の願いには核実験でこたえる国と一体の朝鮮学校に対し補助金を出し続けることは、核実験や拉致行為に対する報奨金と見られても仕方がないでしょう。

朝鮮総連や朝鮮学校当局は、教育と政治は別だと声高に叫んでいます。自分たちの学校が、あたかも日本の普通の学校のような教育をおこなっていると主張しています。私が代表を務める「朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会」は朝鮮中学と高校の現代史教科書四冊を入手し日本語に全訳しました。国会、マスコミ界にも彼らの教育の中身が知られるようになりました。朝鮮戦争は米韓による侵略戦争であるとか、大韓航空機爆破は韓国のでつちあげだとか、事実とかけ離れた虚偽を教えています。日本人拉致に一言の反省もないばかりか逆に日本当局は拉致を利用して「反朝鮮、反総連、反朝鮮人騒動をおこなっている」と教えています。

朝鮮学校とは、民族教育の美名の下に、金日成・金正日の極端な個人崇拜教育の場であり、朝鮮労働党の指導

思想であるチュチェ思想を教え込む場であり、在日朝鮮人の子どもを金王朝の忠実な戦士に育てる学校です。文字通り政治まみれの学校です。これについては、私たちのパンフレット

『朝鮮学校の秘められた目的・知られざる実態』で詳しくあきらかにしています。

こういう学校に毎年一億数千万円もの補助金を出すことは国民の理解が得られないことはいうまでもありません。国民の声に逆らう施策を続ける知事のお考えをお聞きしたい。

平成二十五年  
四月十五日

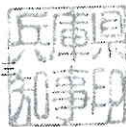
北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会名誉代表  
朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会代表

萩原 遼

教第1210号  
平成25年5月15日

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 名誉代表 萩原 遼 様

兵庫県知事 井戸 敏 三



回 答 書

平成25年4月15日に提出された公開質問状について、下記のとおり回答します。

記

本県には、142カ国約10万人の外国人県民が暮らしており、その子弟である外国人児童・生徒等の教育の機会均等を図ることが重要であると考えています。朝鮮学校を含む外国人学校については、①日本の小学校、中学校、高等学校等と同学齢の児童・生徒等が学んでいること、②国内の大学が高等部の卒業生の入学資格を認めていること、③高校総体等へ参加するなどスポーツや文化面においても高等学校等と同様の活動を行っていることなどから、私立学校に準じた支援を実施しています。

これらの状況に変化がないことから、25年度も朝鮮学校6校を含め振興費補助を予算計上しております。

なお、22年度より国の就学支援金に上乘せるものとして実施していた神戸朝鮮高級学校生徒への授業料軽減補助については、国が朝鮮高級学校生徒に就学支援金を支給しなくなったことに伴い、24年度以降は実施しておりませんので、申し添えます。

兵庫県企画県民部管理局教育課  
電話078-362-3138

## 極秘資料

2013年度

### 在日本朝鮮人教育会 中央常任理事会事業方向及び事業計画

主体一〇二(2013)年2月

新年主体一〇二(二〇一三)年は私たち民族の歴史で特記する事変である共和国創建六五周年と祖国解放戦争勝利六〇周年を迎える意義深い年であり、私たちの祖国が敬愛する金正恩元帥様の指導に従い金日成、金正日朝鮮の新たな主体一〇〇年代の進軍の道で社会主義強盛国家建設の転換的局面を開く大きな創造と変革の年である。

総連は、在日朝鮮人運動発展の歴史において重要な位置を占める今年、二〇一三年の基本方向を敬愛する金正恩元帥様の思想体系、領導体系をより強固にするための中心に置き、総連組織をしっかりと固め、民族教育事業と新世代、同胞商工人との事業を現実的な発展の要求に合わせて斬新で活力ある開かれた総連を、伝統が固く群衆の地盤が強く、前途洋々たる威力のある組織として作り上げるために新しい全盛期の活路を力強く開くことになった。

そのために総連は、新たな主体一〇〇年代の総進軍に、山岳のように轟かす祖国の人民と歩調を合わせ、同胞を守り、

総連組織を固守するために丸一年間、緊張した態勢を堅持し、一瞬の停止もなく総攻撃戦に一体となって決起していくことを提示した。

今年の教育会事業はこのような基本方向に従い、変化した情勢と教育的環境に合わせて教育会組織内部をいっそう強固に固めることを中心に置き、各単位ごとにすでに整えた学校運営の土台をいっそう強固化する一方、新しい財源を確保し学校を愛し、民族教育権を擁護拡大するための大衆運動を斬新に開き、その幅を決定的に広げること注力し事業を推し進める。

そして、敬愛する金正恩元帥様が総連に送ってくださった新年祝電の中で、主体偉業の高い要求に沿って在日朝鮮人運動も転換的局面を開くため、新しい全盛期を開拓するための闘争に大きな歩みを前に進めなければならないという懇切な教えを心臓深く刻み、今年の教育会事業で新しい成果と前進を成しとげるために全力を尽くす。